

詰四会臨時作品展

担当 たくぼん

【課題】各隅4×4の範囲で持駒
金銀桂の作品

解答者総数 7名

全題正解者 5名

詰将棋パラダイス4月号で詰四会作品展を開催しました。課題は現代版四図之詰物というところで各隅4×4の範囲で持駒金銀桂。それに載せられなかった作品を集めて出題したのが今回の作品展です。なお課題の言いだしっぺは利波さんで当然といえは当然ですが課題作を4作投稿も頂きました。ありがとございます。詰ハラに掲載分

含めてまあ成功だったのではないでしようか。

ただルールがよく分からない等の苦情もあったよつで出題の際にもつと分かりやすく説明すべきだったと反省しています。ごめんなさい。

まず最初の図は、4作とも作者は「たけとひで」さんです。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇	科	季					王	季
王					遊	龍		香
			季	龍			角	
		桂						
			馬			季	金	皇
ス						馬	銀	王
ス	王	季	龍					
季								

持駒 金銀桂

左上 右上 左下 右下

分かりやすくするために1作ずつのに分解した図で解説します。

たけとひで 作

正解者7名

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇	科	季						
王								

持駒 金銀桂

- 82 桂成、同金、94 龍、93 桂
- 84 桂、81 玉、72 銀、同金
- 83 龍、同金、72 金、迄11手

飛の横利きを通すのに初手は当然。同金と取つてみると例の筋になりました。初形94桂配置なら・・・と思つけど世の中そんなに甘くない。

凡骨生「邪魔桂を処分すれば後は

例の手筋。」

小野寺「この手の収束は大好きだ。」

利波偉「三手目からは同一手順ありで、員数合わせでもちよつと厳しいよつな〜。」

詰ハラ初級コーズはだいたいどれも見たよつな・・・ですから・・・。

雲海「初手が詰将棋らしい1手。後はいつもの手順の1つ。」

谷口翔太「83竜捨が大妙手？、遠い思い出かな。」

私は昔、実戦でこの龍捨を指したことがあります。気持ちよかつたなあ、

冬眠蛙「2手目同金と取つてくれるとつれいな、と思つたら作意でした。同玉の変化がちよつといいですね。」

同玉の変化にもちゃんと捨駒が出てきますね。

たけとひで 作

正解者 7名

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	香
					桂	銀		
								角

持駒 金銀桂

11歩が無ければ見事な打ち替えですが12金の1手詰では夢ですね。

凡骨生「如何に何時、13金を打つかですね。」

小野寺「初手駒取りにしてはまあまあの手順か。」

利波偉「思い切って4手省く方が味が良かったような気がします。」

私的にはこの導入はOKですが、人それぞれの感想はあるでしょうね。

雲海「初手が何故か盲点でした。」

谷口翔太「小技の連続?いいえ、角成は大技ですね。」

慣れてくるとこの角捨ては当然の一着になるんですねえ。

冬眠蛙「打った歩を成り捨てる味がいいです。良い序の付け方。」

歩を成り捨ててからの角捨てのコンビネーションも好手順。

いつもなら22銀と捨駒ですが、23から抜けちゃうので歩を取るぐらいしかありません。次に歩を打ち21玉で、初形の13香型から12歩型に変わりました。何か良い事あるのかな...。そろそろ13金と打てるのです。

たけとひで 作

正解者 7名

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 金銀桂

もう1回金を捨てたい?欲張りはダメですよ。世の中そんなに上手くいくことありません。

凡骨生「77龍捨ての一手。」

小野寺「初手金の意外性が売り。」

利波偉「詰めてビックリ、たった七手でした。意外と悩ましい手があつて、それなりに楽しめ

た。」

雲海「ほとんど一本道ですね。これは褒めるのが難しいです。」

利波さんと雲海さん両極の感想ですね。面白いですねえ。

谷口翔太「よどみに浮ぶつたかた?、流れて解ける。」

冬眠蛙「最初銀を打って悩んだのはナイショにしといてください

(笑)。
やっぱり居た!

79金 97玉、77龍、同馬、89桂 同、98銀 迄7手
今回の作品展で一番の単手数。持駒3枚で7手とはなかなか創りにくいはずですが本作はいい味を出しています。ベテラン解答者は初手97銀が第一感のはず。まさか79金となねえその後、龍もちゃんと捨てますし、桂も捨てて良いのではないのでしょうか?

たけとひで

正解者7名

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						銀	金	皇
						馬		王

持駒 金銀桂

- 27金 同玉、28銀打、同馬
- 38金 同馬、36馬、17玉、
- 29桂 同馬、18歩、同馬、
- 26馬 迄13手

今回好評だったのは本作。27金と捨ててからの28銀打や28銀、38金という順に解答者は良い気持ちに……。以下の収束も打歩打開を絡めて無難にまとめて好作と言ってもよいだろう。

凡骨生「28に馬を呼び込んでからの38金が常套とは言え巧い。」

小野寺「桂を打歩回避に使った点を褒めたい。」

利波偉「28銀打、38金の複合手が見せ場で、以下も無難な仕上げ。」

雲海「馬の翻弄が面白いです。」

谷口翔太「4題揃って好作。何故、

パラ誌に載らなかったの？

週刊誌向き、パラ誌の強豪には？ですか。」

一人一作ということで作者が

詰パラ掲載作を希望されまし

た。

冬眠蛙「下に逃げられない手順を

考える。28銀、38金がうま

い。」

3手目いきなり38金は18玉

で不詰。馬を28に呼んでおけ

はこのとき28金と取れる。

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
	王							皇
龍								香
								飛
								馬

持駒 金銀桂

左上 右上 左下 右下

作者は、利波偉 たくぼん

利波偉 作

正解者7名

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
	王							
龍								

持駒 金銀桂

93桂 同龍、72龍、同玉

94角、△同龍、73金、61玉、

62銀、52玉、53銀成、51玉、

62金、41玉、42成銀 迄15手

△ 83金合は73金、81玉、72銀、

91玉、83金以下13手

A 83飛合は63金、81玉、72銀、

92玉、83角成、同飛、91飛ま

で13手

作者「序が難しいですねえ。94角

までは良いと思いますが、。条

件を考えればこんなものですか

ね？」

初手91金は危なそうな同玉

で不詰。まあ同龍も危なそうだ

がこっちは詰将棋のような順で

詰む。 作品にはならないけど

ね。 ややこしいのは6手目の変

化。 詰四会場でもここで詰まっ

た。 6手目の変化を乗り切れば

あとはよく見る収束へ。しかし

解答者の反応を見ても龍馬図式

+難解さが見慣れた収束を上回

ったようでホツとしている。

凡骨生「龍馬図式にした処がニク

イ。」

小野寺「難しい。取った駒をすぐ

に捨てるのは良いと思う。」

角を捨駒で使うのがいいです

ね。

利波偉「飛角図式という条件も考

えると、まあまあではないでし

ようか?」

雲海「守備力が強いせいか、妙に

解きにくかった作品でした。」

谷口翔太「飛角図式で課題に挑戦

後の3題も飛角図式は、ムリで

したか?」

下辺では持駒桂がネックです

ね。

冬眠蛙「飛角図式とはまたつまみ

94角が入って上々じゃないで

しょうか。」

利波偉 作

正解者5名 誤解2名

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								皇
					飛	銀	玉	角
						桂		香
						香		香

持駒 金銀桂

21角成、同玉、12銀、22玉、

11銀生、A 13玉、12金、同飛、

同飛成、同玉、52飛、11玉、

13香、21玉、12香成、31玉、

43桂、41玉、51桂成、31玉、

22成香 迄 21手

A 23玉、22銀成、同玉、12香成

同玉、32飛成、22金、11金

同玉、31飛、21歩、12香、同

玉、21飛成、13玉、22龍引迄21

手駒余り

作者「6手目の変化で22金とす

る変別に陥る人が多数出るかと

思う。作品は序の角銀打ち換え

は見えにくくて面白いと思いま

すが、収束がヨレヨレです。」

6手目に23玉と逃げると、以

下22金、13玉、12金以下作

意順で23手となるので作意

より2手長くこちらが正解

と思ってしまうがさにあらず。

23玉には22銀成!という手

があり21手駒余りとなるの

だ!恐るべし利波偉!22銀

成なんて見えないよ〜と思

ったが、ひっかかったのは2

名のみであった。皆さんお強

い。私は間違ひなく引つかか

ってたでしょうねえ。

凡骨生「限定飛打が飛び出すと

は。」

小野寺「変化に気付いたときは妙

に落胆した。52飛が気持ちの良

い一手。」

利波偉「序はそこそこだと思つ

のですが、。変別解は出ましたか

ね?」

雲海「4手目同香の変化ですこし

つまづきましたが、後は易しか

ったです。」

4手目同香は、同香成、同玉

32飛成、22金、11金以下31飛

〜12香の好手順で詰みます。

谷口翔太「作者の力を感じます。

52飛打、チョット良いな。」

地味に?52限定というのは

良い印象でした。

冬眠蛙「4手目同香の変化が深く

て参りました。31飛、21合に12

香が見え難い手でした。」

この順がかなり見えにくいと

思います。

利波 偉 作

正解者 7 名

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			馬					
	香							
	飛		飛					
	歩							
	王		雀					

持駒 金銀桂

98 銀 同玉、 97 飛 同玉
 89 桂、 98 玉、 99 金、 同玉、
 87 歩、 89 玉、 88 馬 迄 11 手

作者「今回一番素直な作品。易し
 すぎますね。一心還元玉です。」

易しいですが狙いもはつきり
 しているし玉方は全て玉の着手
 とリズムもあり作者が思ってい
 る以上に私は好きです。
 凡骨生「あれ！初形と詰め上がり

図が似てるなア。」

小野寺「変わった開王手だ。」

利波偉「いかに員数合わせとはい
 え、流石に恥ずかしい出来です
 ねえ。」

雲海「飛が邪魔だとわかりやすか
 ったです。」

谷口翔太「利波さんも4題ですが、
 作品の出来映えに、ばらつきあ
 り、かな。」

冬眠蛙「6手目86玉がちよっと
 …詰方96歩置いた方が良い？
 でも変同回避だけの配置っての
 もね。気持ちわかります。」

6 手目 86 玉と逃げると、 76
 馬、 95 玉、 85 金、 96 玉、 86 金
 迄 変同 たしかにいやらし
 い順だ。だが88歩を香にする
 とこの順は消えると思うがど
 うだろうか？盤面対子になる
 し悪くないが変化が浅くなり
 すぎるかな。

たくぼん 作

正解者 7 名

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						龍		
					銀		王	
					角		ス	
					金			

持駒 金銀桂

26 龍 18 玉、 28 龍 同玉、
 39 金、 27 玉、 26 金、 17 玉、
 28 銀、 18 玉、 27 銀、 17 玉、
 29 桂 同角成、 18 歩、 同馬、
 同銀、 同玉、 63 角、 19 玉、
 37 角 迄 21 手

ほんとに作品が集まらなかつた
 ための予備で数分で創ったもの
 であり作者の創意が入ってい
 ない。詰上りは私らしいかも。

凡骨生「龍を大事にして苦戦す、
 以外に長丁場。」

小野寺「清算だとは思えない初形。
 手順は少し乱暴な気がする。」

利波偉「と金を動かす手順かと思
 ったら、いきなりパクルとは…。
 最終手は透かし詰になるように
 逃げるのがエチケットというも
 のでしょうね。」

ありがとうございます。

雲海「龍を消す導入は意外でした。
 収束が…でしたが。」

谷口翔太「最後は空気投げ？、桂
 が打って、ホットー息。」

冬眠蛙「全然詰まなそつ…と思っ
 たら。いやはや、凄い序を付け
 ますねえ。」

初形がもう少し詰みそつだつ
 たら龍切りもインパクトがあ
 るのでしょうか…。

たくぼん 作

正解者 6名 誤解 1名

一 二 三 四 五 六 七 八 九

持駒 金銀桂

- 94 桂 83 玉、73 金、92 玉
- 82 桂成、同馬、同金、同玉、
- 73 銀、92 玉、81 角、91 玉
- 94 飛、81 玉、84 飛、71 玉
- 82 飛成、61 玉、62 龍、迄 19 手

これ日記にも書いたと思うけど、持駒金銀桂で作品を創ろうとして適当に盤面に並べたら、そのまま完成していたという神が創ったと言ってもいい作品なのだ。しかし残念な

ことに私の元に降りてこられた神は偽者だったようで変同もある中途半端な作品となっていました(笑) 創作時間15秒。こんなこともあるんですね。

凡骨生「初形も3枚、詰め上がりも3枚で、詰将棋三昧だ。」

小野寺「これは2解あると判断してよいのか？簡素ながら途中の非限定が惜しまれる。」

作意は10手目92玉だが、91玉でも19手駒余らずになる。しかしこの順には余詰があるので92玉として欲しい。

利波偉「10手目91玉逃げの方がカッコいい手順なのに、余詰ありではこちらが作意なのでしょう。作意順が変化より劣るの

で残念です。」

雲海「初手71銀をしばらく考えて

しまいました。94桂はちょっと気がつかなかった好手。」

谷口翔太「今度の桂は一目で打た。たくぼんさん、あとの2題はどうしたの？」

私は穴埋め要員ですのでしやばったマネは致しません(笑)

冬眠蛙「最後は三二煙ですか、流石です。色々変化あるのに角捨てが作意になるとはオイシイですねえ。」

初解答の出澤浩樹さんは9手目64角以下の解答でしたが、81玉で不詰 詰んでいるような形ですので錯覚かな？

今後ともよろしくお願ひしますね。また出来れば短評を書いていただけると嬉しいですよ。

本作は、たくぼん作というのもおこがましいのでこの局面から4x4の枠を取っ払ひどこまで逆算できるかやってみ

ました。結果左図の57手詰が出来ました。歩無煙詰ですが、手順は平凡でイマイチ。やっぱり煙詰は難しいです。ハイ。出来ればケムリスト馬詰さんにお手本をお願いしたいのですがねえ。

持駒 なし

- 25 馬、33 玉、23 銀成、同成香
- 同桂成、同玉、22 金、同玉、
- 32 金、13 玉、14 香、23 玉、
- 34 銀、32 玉、24 桂、22 玉、
- 12 香成、同龍、同桂成、同玉、
- 23 銀、同玉、24 飛、32 玉、
- 31 桂成、同玉、41 香成、同玉、

44 飛、51 玉、61 馬、同玉、
71 香成、同玉、74 飛、82 玉、
93 金、同角成、94 桂、83 玉、
73 金、92 玉、82 桂成、同馬、
同金、同玉、73 銀、92 玉、
81 角、91 玉、94 飛、81 玉、
84 飛、71 玉、82 飛成、61 玉、
62 龍、迄、57 手

【全題正解者】

凡骨生、小野寺、利波偉、

谷口翔太、冬眠蛙

【8題正解】雲海

【7題正解】出澤浩樹

【総評】

利波偉「いかにも予備作というレ
ベルでしたが、この中では4番
と自作だけで5番が良かった
と思います。」

最初の1行に仰け反ってしま
いました。楽しいで頂けれ
ば十分です。

雲海「そつえば…ご存知かもし
れませんが詰パラHPの掲示板
で、ルールがわからず4月号の
作品展の解答できなかった、と
いう内容の書き込みがありまし
た。今回の作品展もルールが理
解できず、解答しない(できな
い)方がいらつしやるかもしれ
ないので、詳しいルールの説明
を入れたほうがよかったです。
ないか、と思いますがいかがで
しょうか?」

詰パラ掲示板を見ていなかっ
たので全く知りませんでした。
この位で分かるだろうのでは
ありません。反省です。

谷口翔太「13日付けの貴HPでは

解答者数はわずかに5人。せめ
て10人くらいは、解答者が欲し
いでしょ。ね。枯れ木も山の何
とやら、解けた?だけでも解答
しよう、です。」

最終的には7名でした。初め
ての方からも解答頂きました
し、良しとしましょう。少な
いからと氣遣って解答頂ける
常連さんにも感謝感謝です。

冬眠蛙「たけとひでさんがとつ
つきやすいので助かりました。」

たけとひでさんのパワーには
びつくりしました。もちろん
詰パラの作品展にも本名で作
品を掲載しています。実家が
現松山市ですので今後も詰四
会で活躍して下さると信じて
います。

次回、第7回の課題は「田舎

の曲話」ちょっと自虐的では
ありますが、お気に入りの課
題です。無理やりこじつけて
も何でもOKです。是非作品
投稿をよろしく願います。
送り先は、たくぼんのメール
アドレスまたは、第7回詰四
会会場まで持参下さい。

takujipdokidoki.ne.jp

なお第7回詰四会は8月中
旬〜9月中旬あたりに開催予
定です。決まり次第告知しま
すのでよろしく願います。
特にこれをお読みの四国在住
者の皆さん、決して敷居の高
い会合ではありませんのでお
気軽にお越し下さい。いきな
りでは来難いようでしたら事
前の私宛にメール頂ければ
と思います。よろしくね。

たくぼん